

平成 28 年度「土岐津の森」土岐津中学校による活動報告

土岐津中学校の1年生 69 名が、学校の裏山である「土岐津の森」において、樹林の働き、樹林整備の意義や現在の森のようすを学ぶための学習、土砂災害に強い樹林を目指した樹林整備活動に取り組みました。

この活動は、多治見砂防国道事務所、土岐市ほか、多くのボランティアの支援のもと実施されました。

○学習会 10月14日

室内講義「防災のはなし」「森林のはなし」

野外学習「土砂流出実験」「砂防ダム実験」「降雨体験」

○観察会 11月4日

野外学習「土岐津の森を知ろう、森にふれよう」

「森の土と木の観察」「ノコギリ体験」

○樹林整備活動 11月25日

野外学習「常緑低木や成長の悪い木の伐採（間引き）」



10/14 学習会



↑
中島講師による講義
「森林のはなし」



↑
土砂災害と
森の働き
～土砂流出実験～



熱心に説明に
聞き入る姿が
見られました



←パネルを使
った講義



砂防ダム実験→



降雨体験車の故障というハプニングもあり、予定していた「雨の強さを知ろう」が実施できませんでしたが、かわりにパネルを使って身近で実施されている砂防事業の役割や近年の土砂災害の特徴などの講義を行い、市民の生活を守るために、色々な対策が実施されていることを生徒たちは知ることができました。



11/4 観察会

ほとんどの生徒にとって、森に入る経験ははじめてでした。生徒たちは「森を知る、森にふれる」を目的として、森のようすや昨年度までに先輩が整備したところを歩きながら観察し、その後グループにわかれて森の土や木の観察を行い、木を切る練習をしました。



↑ 森に入る前に、安全に活動するための「KY活動」を行いました



↑ 先輩たちが整備した森を観察しながら、歩道を1周歩きました

岐阜大生が観察リーダーとなって、木の幹や葉を観察し、名前あてクイズなどをしました



ノコギリを使って、一玉切りの練習をしました

← 穴を掘って、腐植層の厚さを測りました



11/25 樹林整備活動

「土砂災害に強く、緑豊かな樹林づくり」を目的として、地域のボランティアの方などの支援をいただき、樹林を明るくするための常緑樹を間引き、日のあたる明るい場所を好む広葉樹が生育できる環境に整備しました。生徒たちには立っている木を切るのははじめての体験でしたが、ケガなく楽しく作業ができました。



伐採

土岐市役所職員や市民ボランティアの方の支援をいただき、道具の使い方なども教わりました。



ふりかえり

最後に木を切ることで、森の環境が良くなることをみんなで確認し、今年の樹林整備活動を無事に終えることができました

切る木の選定

明るい環境を好む広葉樹が生育できる条件となるように、伐採する木を選びました。



玉切り作業

伐採した木は枝を落とし、小さく整理しました。整備のお陰で、林床は明るくなりました。



「土岐川流域グリーンベルト整備事業」は、多治見市・土岐市の市街地に隣接する山麓斜面を一連の緑地帯（グリーンベルト）として、保全・創出することにより、土砂災害を防止し、自然環境・景観を保全することを目的としています。

作成者・お問い合わせ先

国土交通省 中部地方整備局

多治見砂防国道事務所

〒507-0023 岐阜県多治見市小田町4-8-6

TEL : (0572) 25-8020

<http://www.cbr.mlit.go.jp/tajimi/>